

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移
(最近の動向)

令和8年3月18日
四国森林管理局

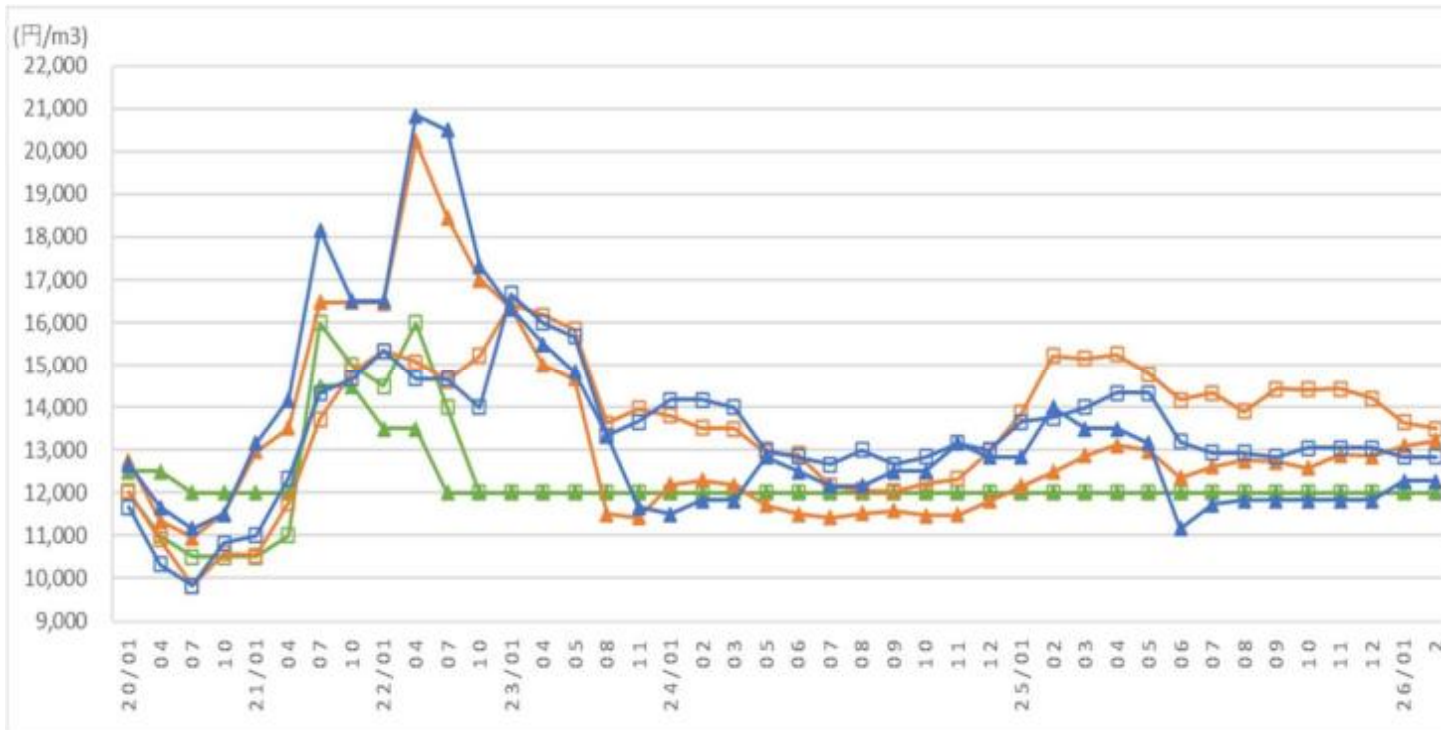
目次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移	1
2	丸太取扱量の推移	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移	8
3	製材品価格の推移	9
III	全国の丸太価格の動向	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	12
2	全国の住宅着工戸数の推移	14

管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移 (スギ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 愛媛県、高知県では3mは上昇、4mはやや下落傾向で推移。
- 徳島県は横ばいで推移。
- 令和8年2月のスギ丸太価格は、高知県で前年同月比1割安。愛媛県では3mが1割高、4mは1割安。



○ 2月のスギ丸太価格

(円/m3)

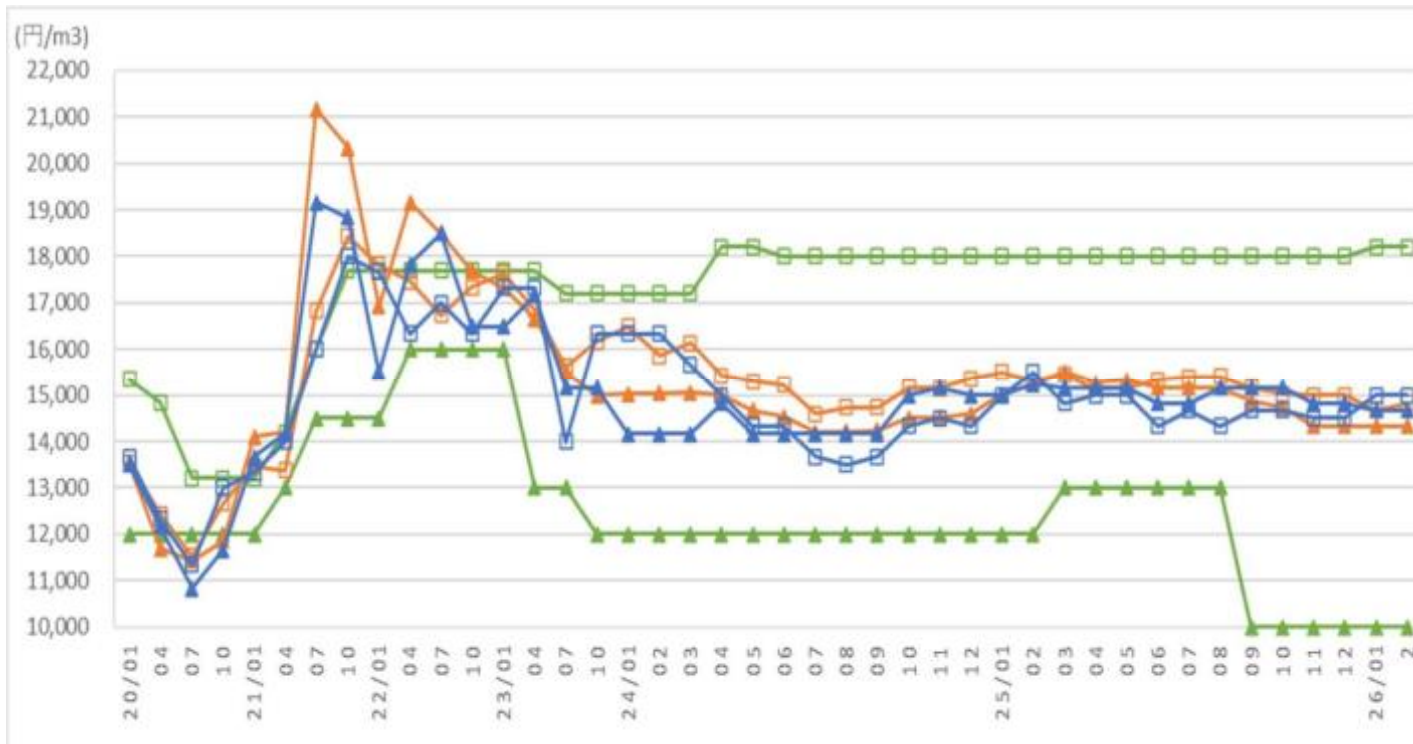
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	13,222	12,480	106%
	□ 4 m材	13,500	15,217	89%
高知県	▲ 3 m材	12,278	14,000	88%
	□ 4 m材	12,833	13,750	93%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移 (スギ、径18cm~22cm 長3m材・4m材)

- 愛媛県、高知県ともほぼ横ばいで推移。
- 徳島県は3mが9月に下落して横ばいで推移し、4mはほぼ横ばいで推移。
- 令和8年2月のスギ丸太価格は、前年同月比83%から101%で推移。



○ 2月のスギ丸太価格

(円/m³)

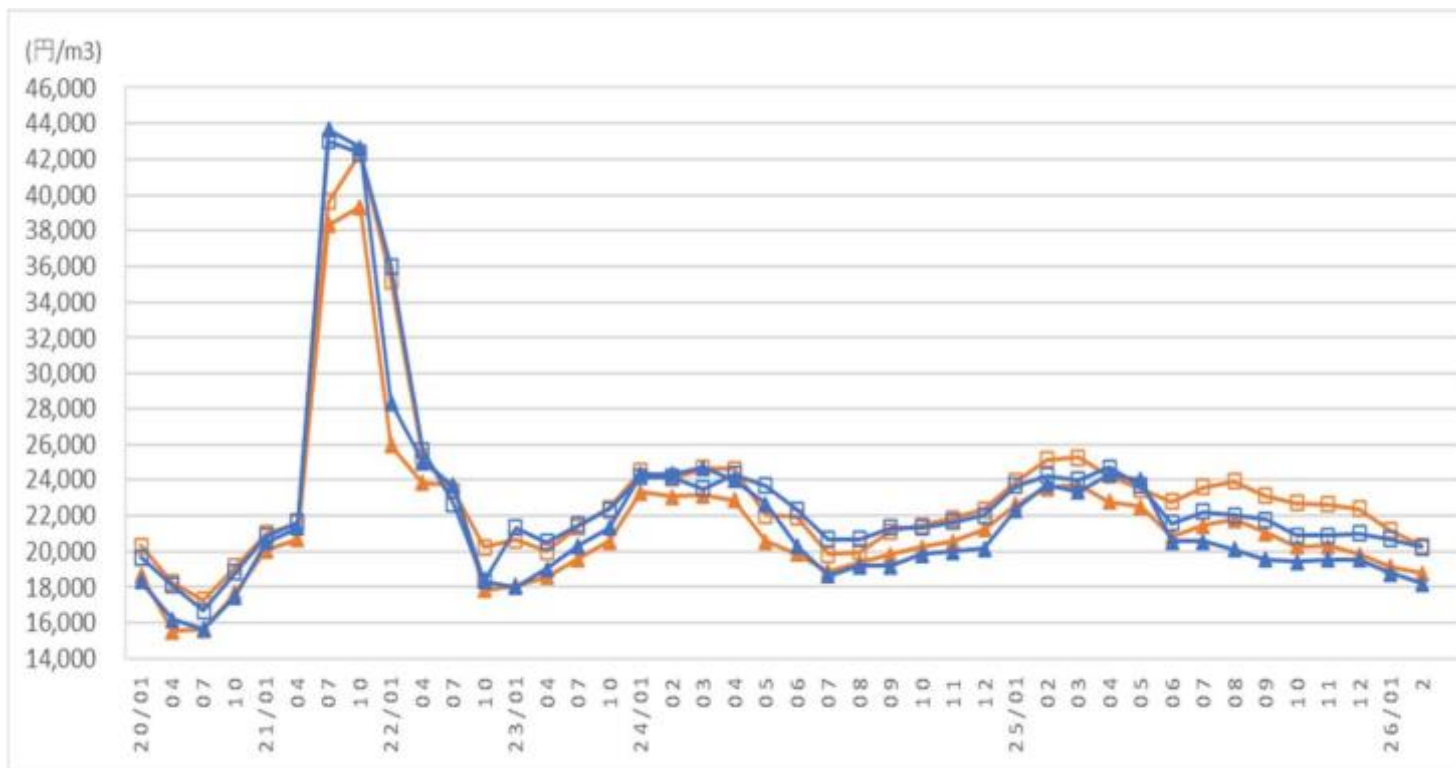
県	長級	当月	前年同月	前年同月比
徳島県	▲ 3 m材	10,000	12,000	83%
	□ 4 m材	18,200	18,000	101%
愛媛県	▲ 3 m材	14,333	15,233	94%
	□ 4 m材	14,833	15,300	97%
高知県	▲ 3 m材	14,667	15,250	96%
	□ 4 m材	15,000	15,500	97%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(3)丸太価格の推移 (ヒノキ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 愛媛県、高知県とも7月、8月から下落傾向。
- 令和8年2月のヒノキ丸太価格は、前年同月比77%から83%で推移。



○ 2月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

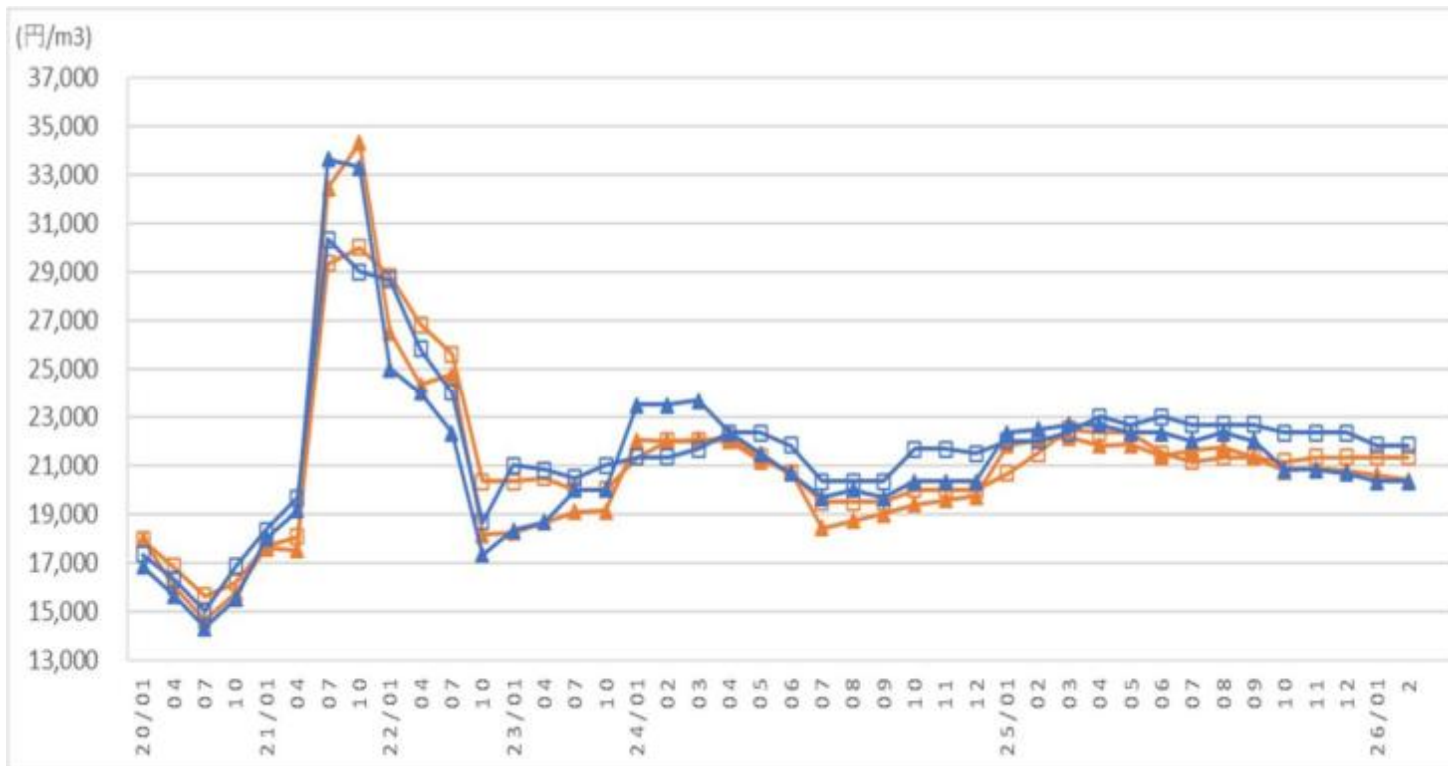
県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3m材	18,778	23,561	80%
	□ 4m材	20,300	25,120	81%
高知県	▲ 3m材	18,222	23,750	77%
	□ 4m材	20,222	24,250	83%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも3 mがやや下落傾向で、4 mはほぼ横ばいで推移。
- 令和8年2月のヒノキ丸太価格は、前年同月比90%から99%で推移。



○ 2月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3 m材	20,400	22,080	92%
	□ 4 m材	21,333	21,500	99%
高知県	▲ 3 m材	20,333	22,500	90%
	□ 4 m材	21,833	22,000	99%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

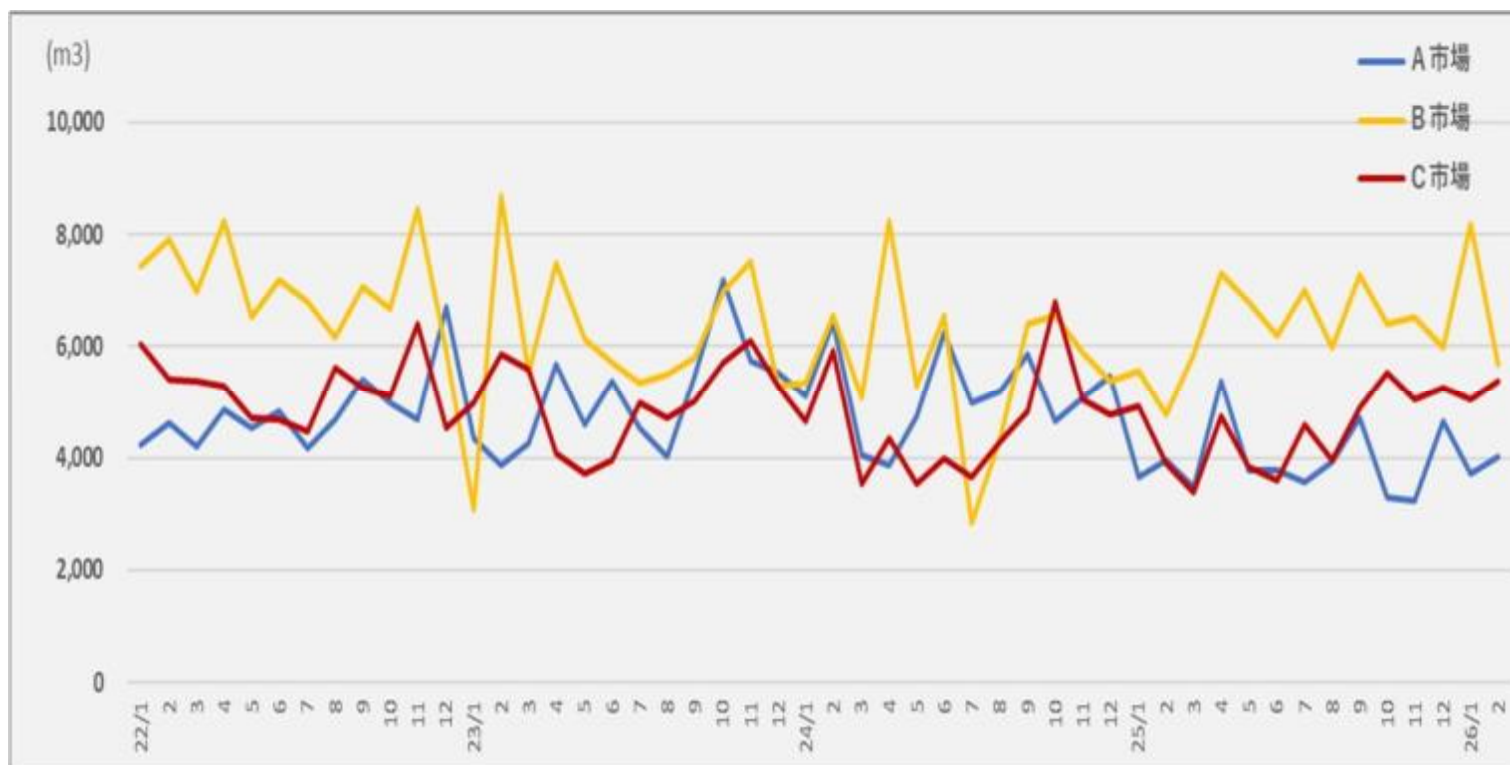
管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 愛媛県内の丸太取扱量

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における2月の丸太取扱量は、前月比89%と減少。
- 直近3か月（12～2月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると113%と増加。

直近3か月（12～2月）の入荷量

	2025年度	2024年度	前年度同期比
A市場	12,346	13,065	94%
B市場	19,834	15,686	126%
C市場	15,679	13,563	116%
計	47,859	42,314	113%



（市場関係者のコメント）

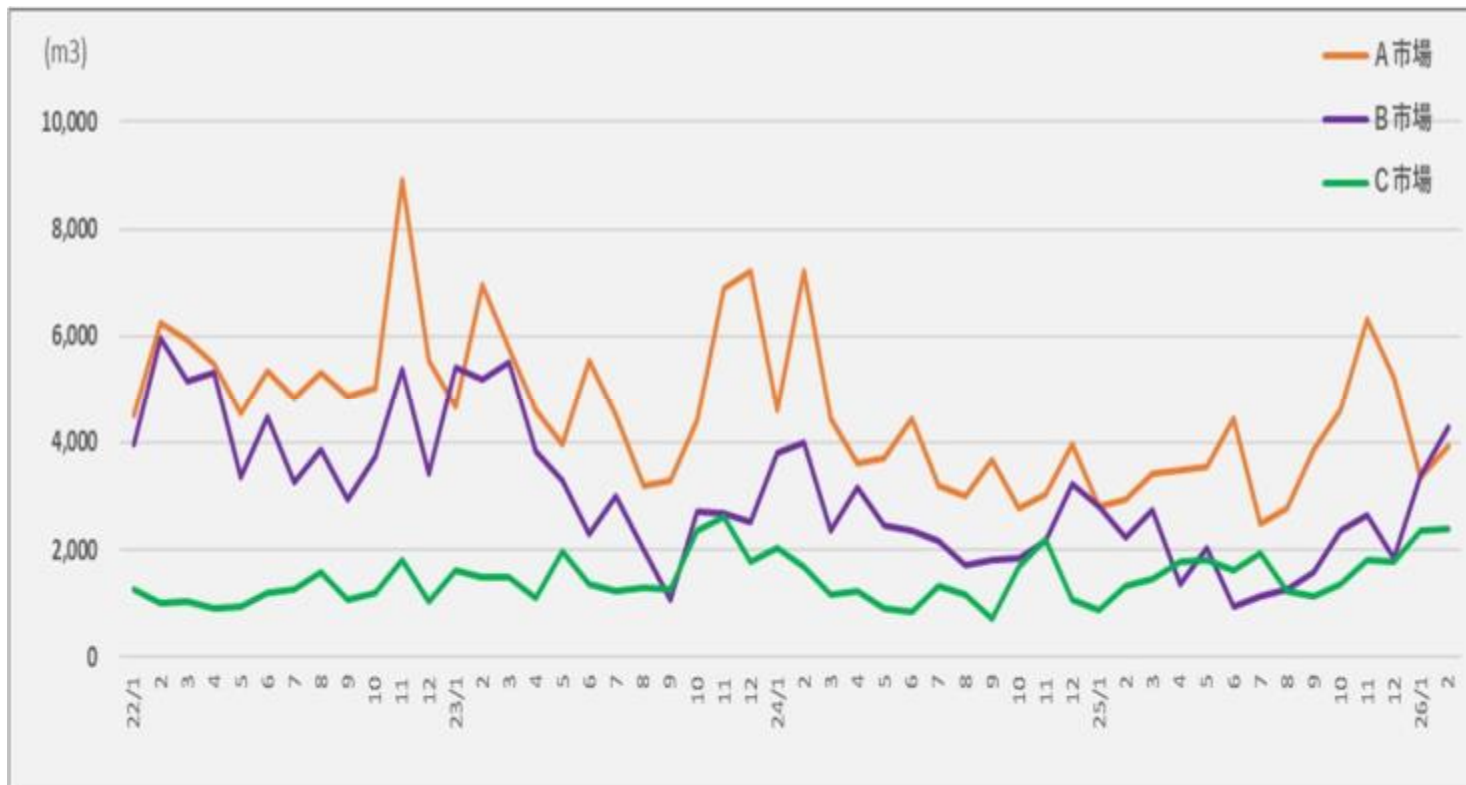
- ・天候も安定し入荷量は増加傾向。
- ・一定量の入荷はあるが予定量に届いていない。
- ・スギ大径材が強含み。ヒノキ3m柱4m土台が弱含み。引取りは概ね良好。
- ・今後も出材量は順調に推移。
- ・請負事業期間が終了し、入荷量は減少すると思われる。
- ・引き合い、価格についても現状のまま推移すると思われる。

2-(2) 高知県の丸太取扱量の推移

- 高知県内の主な原木市場・共販所における2月の丸太取扱量は、前月比117%と増加。
- 直近3か月（12～2月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると135%と増加。

直近3か月（12～2月）の入荷量

	2025年度	2024年度	前年度同期比
A市場	12,490	9,720	128%
B市場	9,550	8,250	116%
C市場	6,524	3,253	201%
計	28,564	21,223	135%



（市場関係者のコメント）

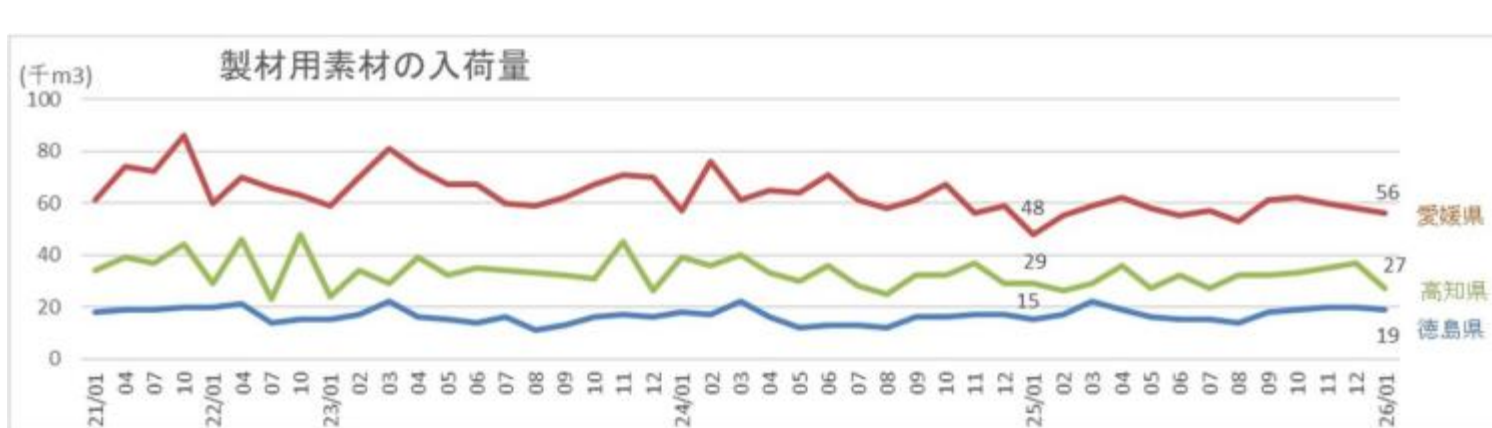
- ・ 入荷量はスギ・ヒノキともに順調。
- ・ スギの引き合いは強いが、ヒノキは弱く価格は下落傾向。材の引取りは良好。
- ・ 今後の出材量は現状で推移する見込みで、価格は現状で推移すると思われる。

資料：四国森林管理局調べ

II 管内における製材等の状況

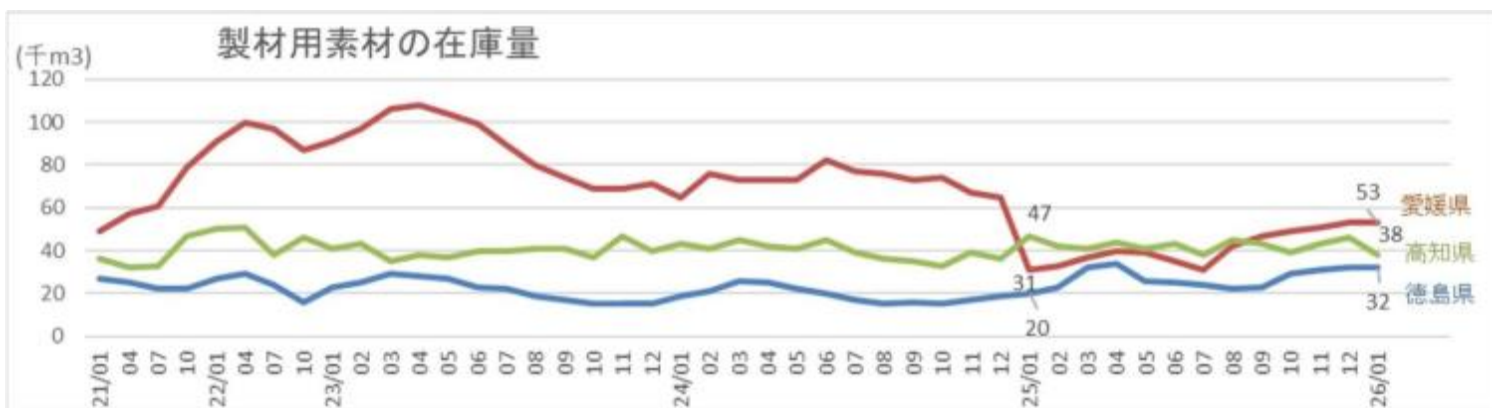
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和8年）

- 四国の11～1月の工場の製材用素材の入荷量は、33万2千m³（前年度比108%）。徳島県、愛媛県、高知県とも前年度比で増加。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、4万2千m³（前年度比111%）。徳島県、高知県は前年度比で増加、愛媛県は減少。



(千m³)

11～1月製材用素材入荷量			
	2025年度	2024年度	前年度比
徳島	59	49	120%
愛媛	174	163	107%
高知	99	95	104%
四国計	332	307	108%

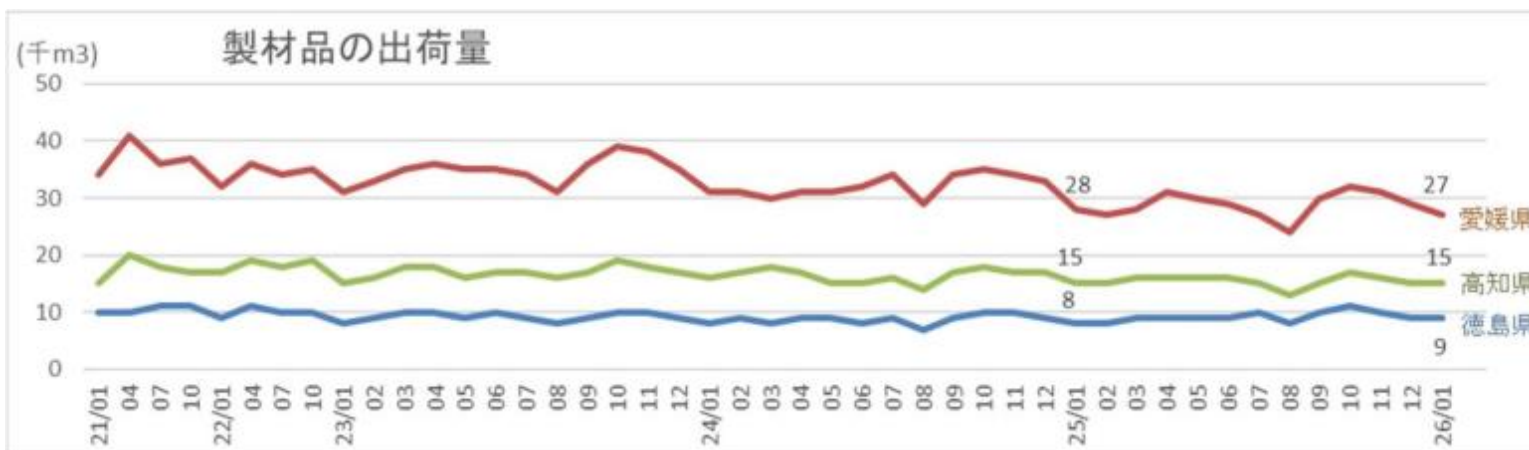


(千m³)

11～1月製材用素材在庫量(月平均)			
	2025年度	2024年度	前年度比
徳島	32	19	168%
愛媛	52	54	96%
高知	42	41	102%
四国計	42	38	111%

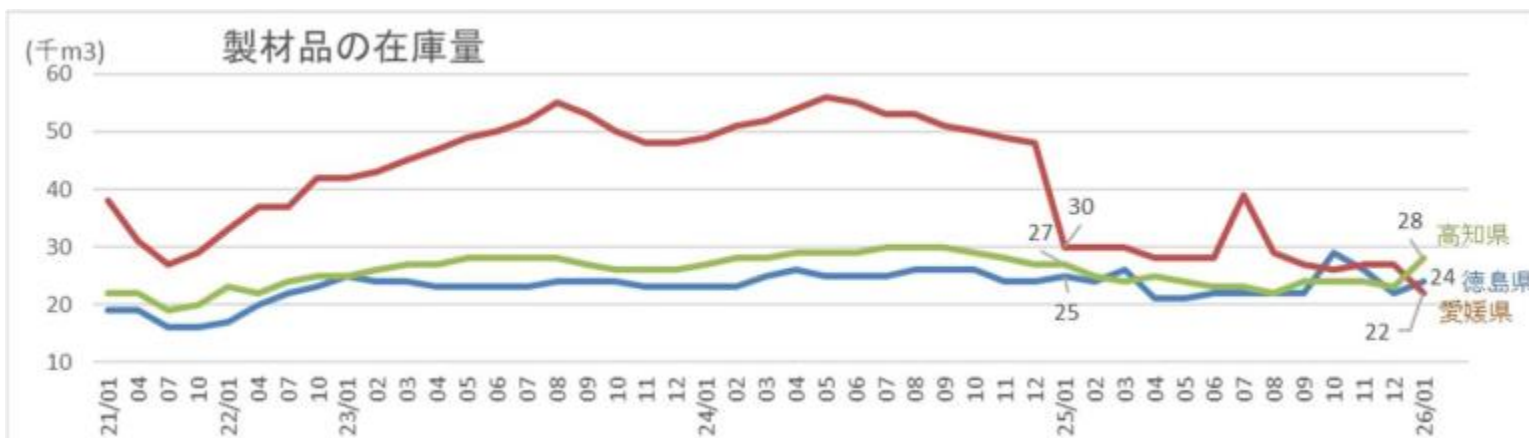
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和8年）

- 四国の11～1月の製材品出荷量は、16万1千m³（前年度比94%）。徳島県は前年度比で増加、愛媛県、高知県は減少。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、2万5千m³（前年度比81%）。徳島県は前年度比で横ばい。愛媛県、高知県は減少し、特に愛媛県は大幅に減少。



(千m³)

11～1月製材品出荷量			
	2025年度	2024年度	前年度比
徳島	28	27	104%
愛媛	87	95	92%
高知	46	49	94%
四国計	161	171	94%

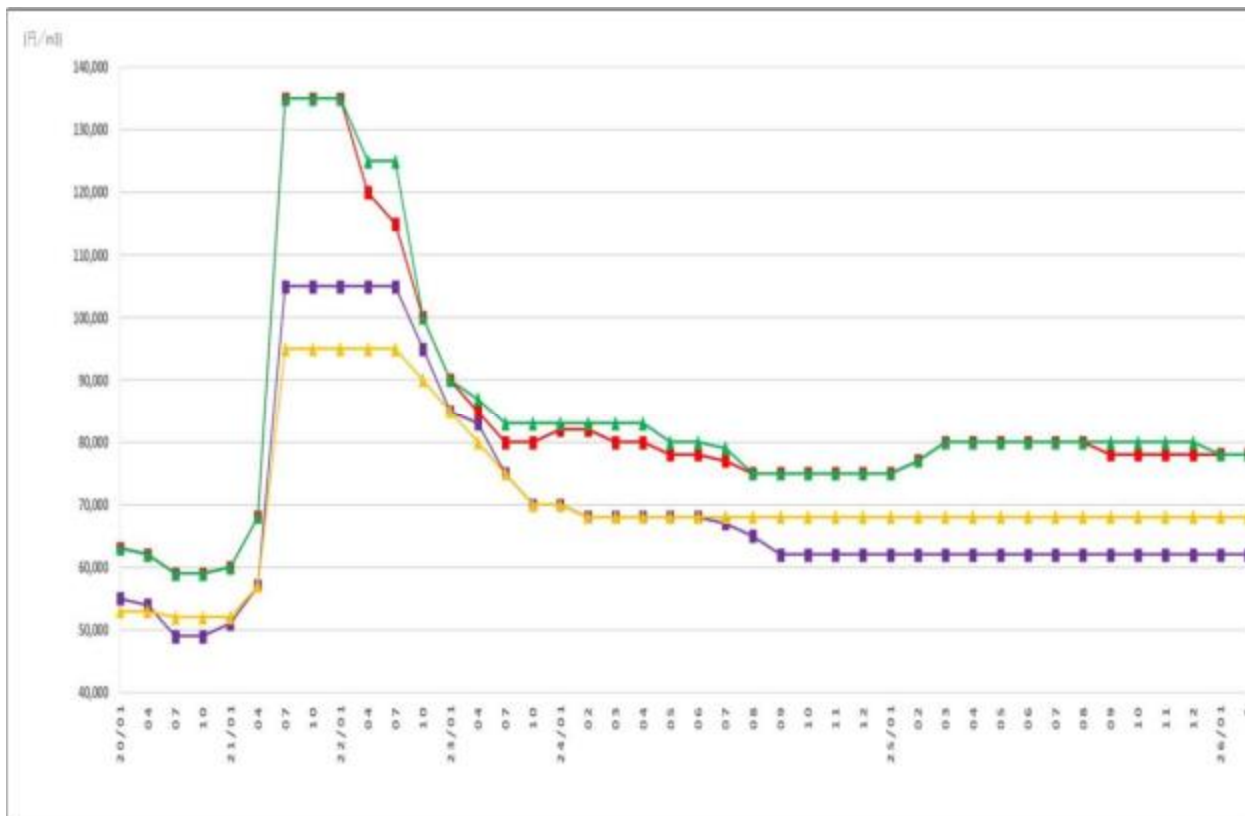


(千m³)

11～1月製材品在庫量(月平均)			
	2025年度	2024年度	前年度比
徳島	24	24	100%
愛媛	25	42	60%
高知	25	27	93%
四国計	25	31	81%

3. 製材品価格の推移

- 令和7年に入って、スギは横ばいで推移。ヒノキは2月、3月に値を上げ、以降ほぼ横ばいで推移。
- 前年同月比ではスギは100%。ヒノキは101%。



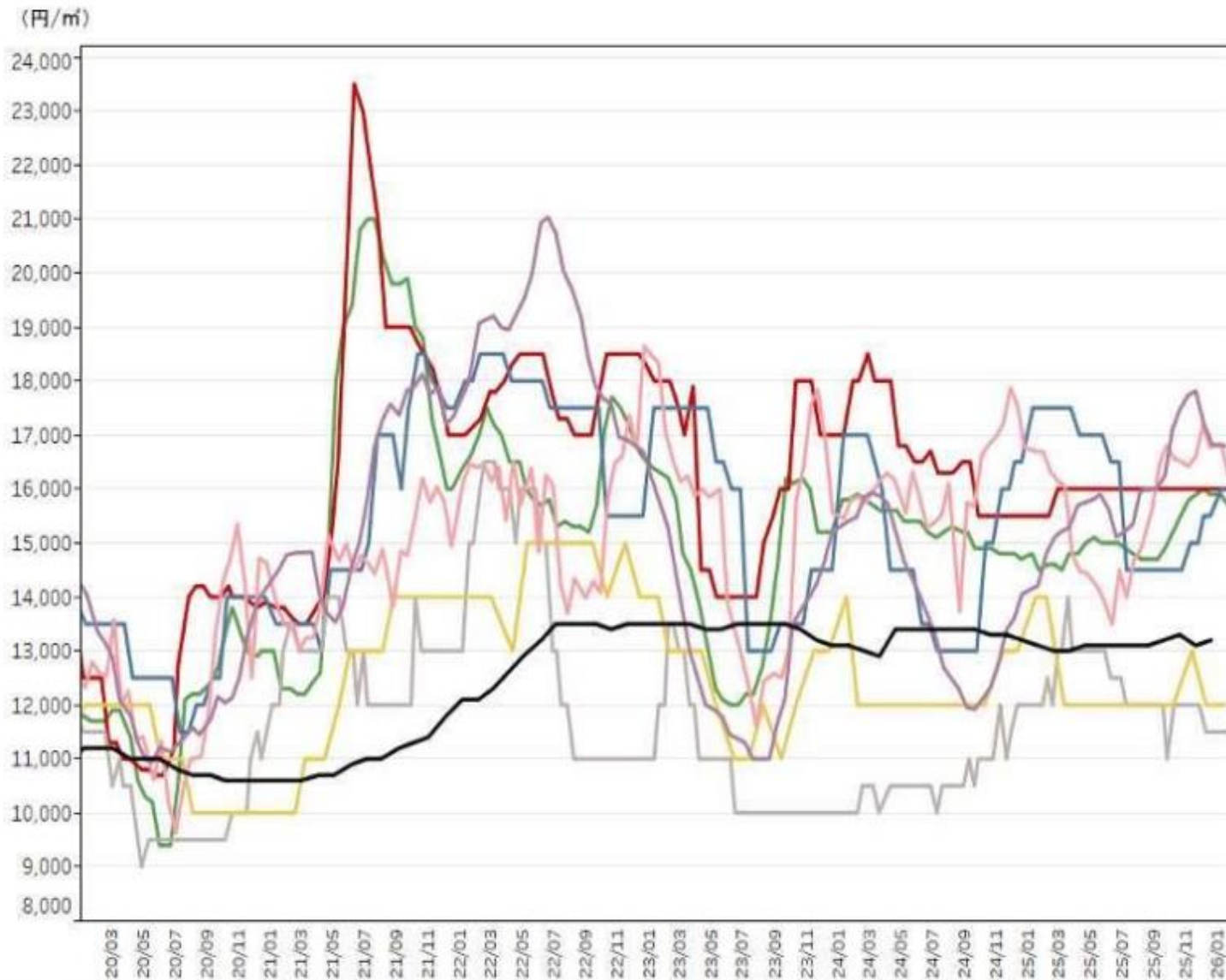
国産材製品の相場（愛媛県）令和8年2月（市売価格） (円/m³)

品目	当月	前年同月	前年同月比
■ スギ柱 3 m × 105mm角KD特等	62,000	62,000	100%
▲ スギ間柱 3 m × 105 × 30mm角KD特等	68,000	68,000	100%
■ ヒノキ柱 3 m × 105mm角KD特等	78,000	77,000	101%
▲ ヒノキ土台 4 m × 105mm角KD特等	78,000	77,000	101%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

ア スギ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、11,500円～16,800円/m³となっている。



(単位：円/m³)

都道府県	2025年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,200	13,200	100%
秋田県	16,800	14,210	118%
栃木県	16,290	16,690	98%
長野県	12,000	14,000	86%
岡山県	11,500	12,000	96%
高知県	16,000	17,500	91%
熊本県	16,000	15,500	103%
宮崎県	15,700	14,500	108%

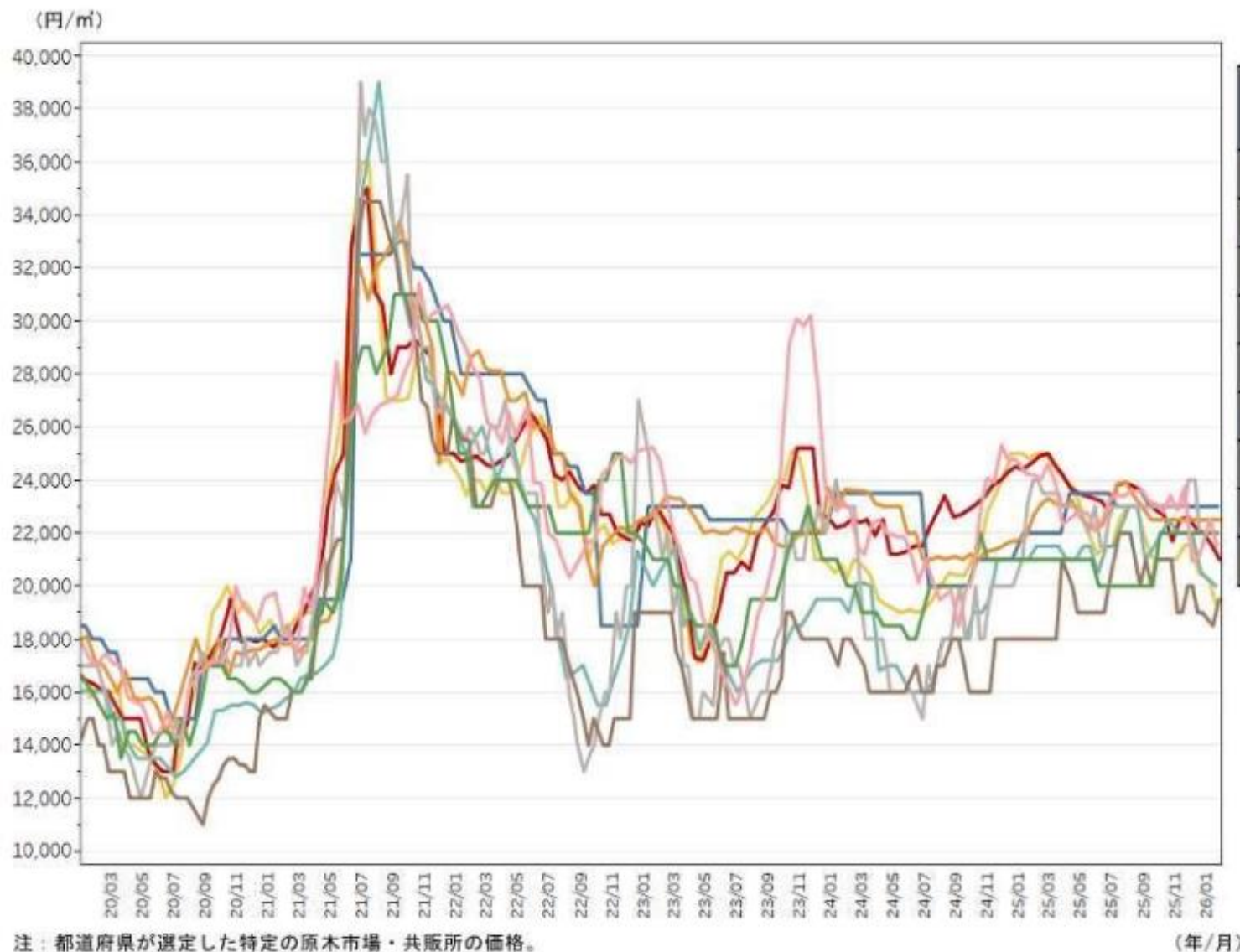
※北海道については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については1月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

(年/月)

イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、**19,230円~23,000円/m³**となっている。



注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(単位：円/m³)

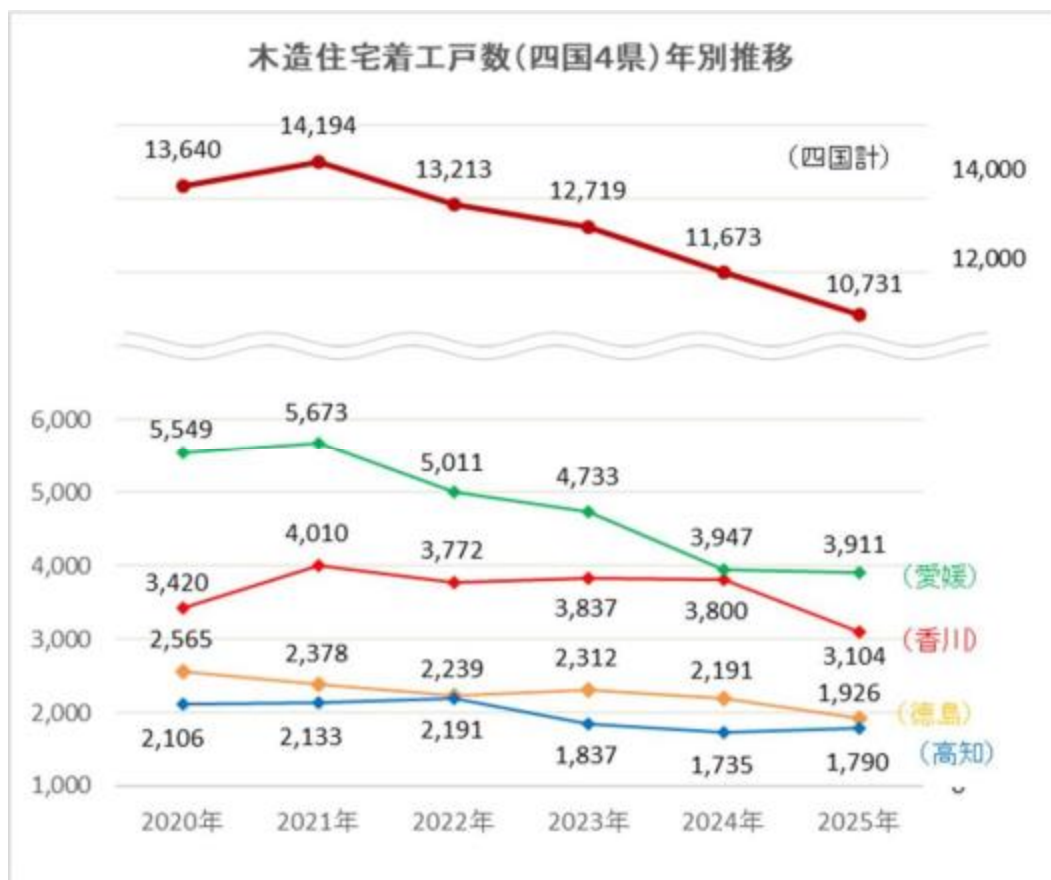
都道府県	2025年直近*	前年同期	前年同期比
栃木県	21,530	24,200	89%
静岡県	22,000	21,000	105%
兵庫県	19,500	18,000	108%
岡山県	22,000	23,000	96%
広島県	20,000	21,000	95%
愛媛県	22,500	22,680	99%
高知県	23,000	22,000	105%
熊本県	21,000	24,700	85%
大分県	19,230	24,800	78%

※各県1月の値を使用。

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2020年～）

- 2025年12月末現在四国全体では10,731戸（前年比91.9%）。県別では徳島県1,926戸（前年比87.9%）、香川県3,104戸（前年比81.7%）、愛媛県3,911戸（前年比99.1%）、高知県1,790戸（前年比103.2%）



年別推移(1月～12月)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	四国計	全国計
2020年	2,565	3,420	5,549	2,106	13,640	523,319
2021年	2,378	4,010	5,673	2,133	14,194	469,284
2022年	2,239	3,772	5,011	2,191	13,213	502,333
2023年	2,312	3,837	4,733	1,837	12,719	477,883
2024年	2,191	3,800	3,947	1,735	11,673	454,427
2025年	1,926	3,104	3,911	1,790	10,731	433,655
前年比	87.9%	81.7%	99.1%	103.2%	91.9%	95.4%
2023年比	83.3%	80.9%	82.6%	97.4%	84.4%	90.7%
2022年比	86.0%	82.3%	78.0%	81.7%	81.2%	86.3%

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2025年）

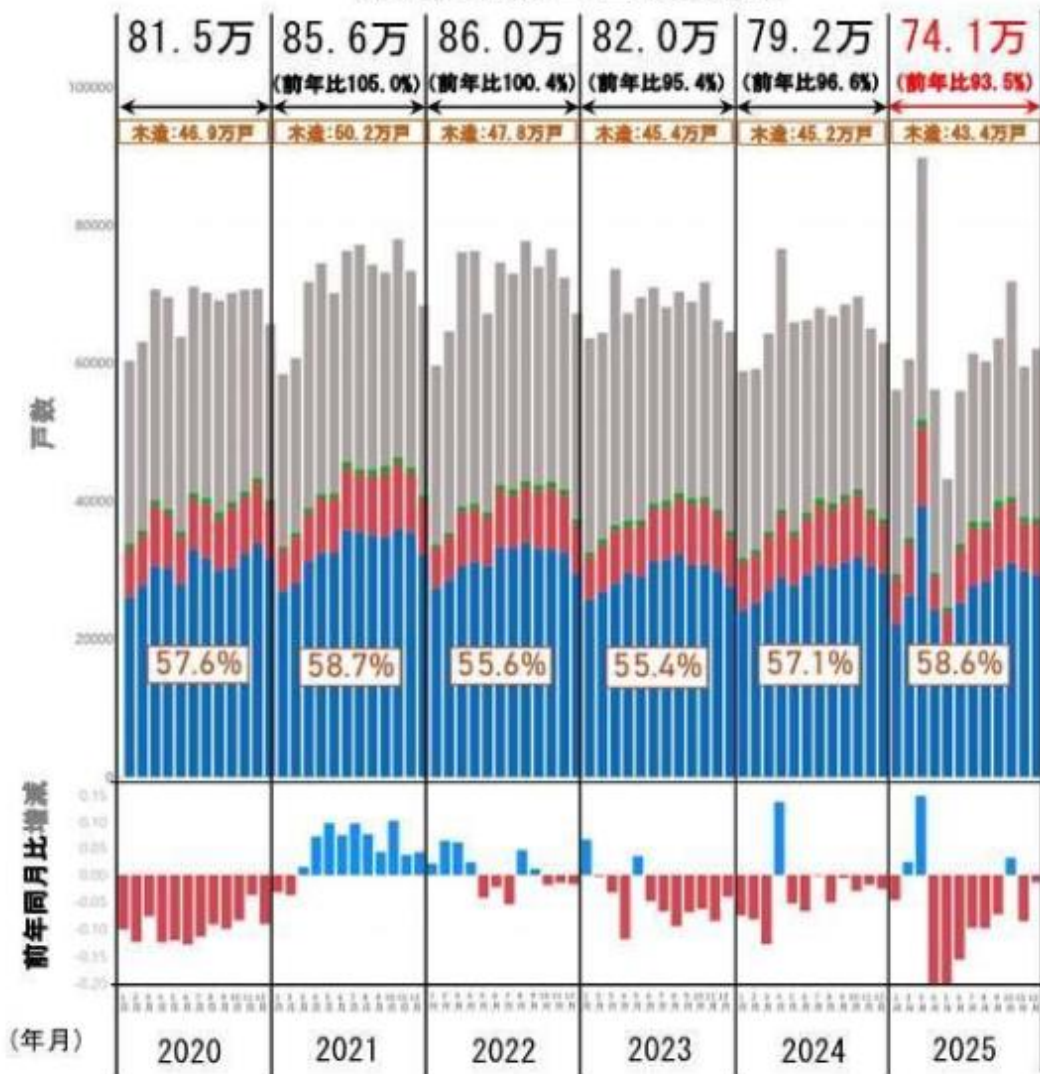
- 3月の建築基準法改正前の駆け込み需要の反動で、4月の四国全体の着工戸数は3月から67.3%と大幅な減少。5月からは回復傾向となり、7月以降はほぼ横ばいで推移している。



2 全国の住宅着工戸数の推移 (2020年1月～2025年12月)

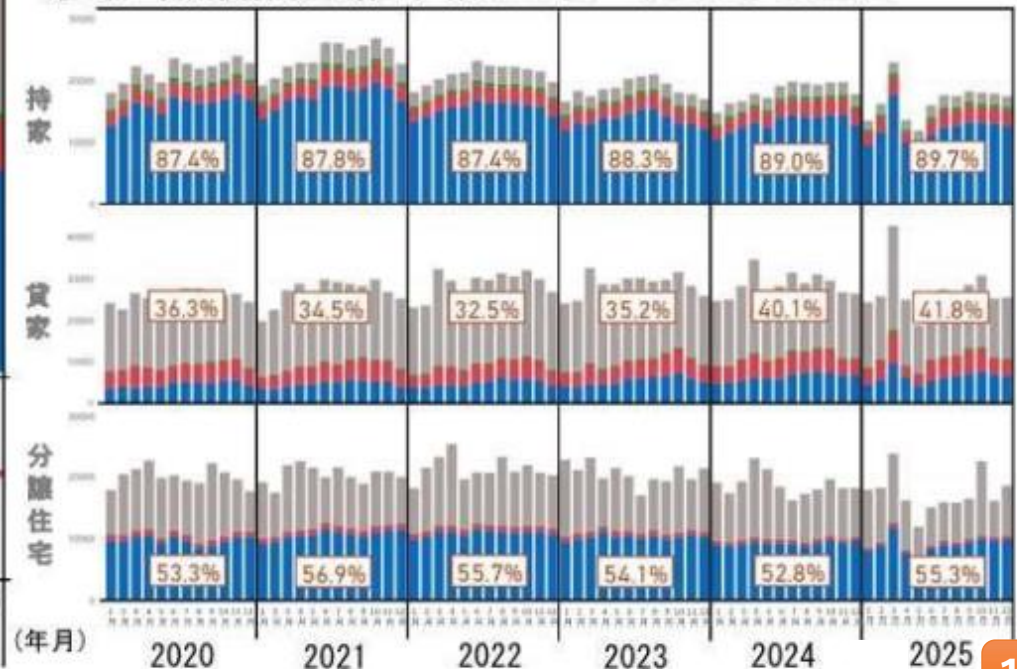
- 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- 2025年1～12月の新設住宅着工戸数は74.1万戸（前年同期比93.5%）、このうち木造住宅は43.4万戸（同96.0%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2025年 1～12月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	740,667	792,195	93.5%	819,623	90.4%
■非木造	306,693	339,919	90.2%	365,196	84.0%
■木造	433,974	452,276	96.0%	454,427	95.5%
■木造プレハブ	10,620	10,673	99.5%	10,329	102.8%
■2×4	91,512	95,102	96.2%	90,792	100.8%
■在来軸組	331,842	346,501	95.8%	353,306	93.9%
□木造率	58.6%	57.1%		55.4%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

令和7年度 四国森林管理局木材供給量(素材・立木)

○素材生産・販売量は、2月末時点で18万m³。3月は7千m³予定しており、計18万7千m³を予定。

○立木販売量は、2月末時点で7件1万7千m³。3月の公売はなし。

令和7年度 素材供給量(実績) ※()書きは見込数量

素材材積 (単位:m3)

県	署(所)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	4~2月小計	3月	計
徳島	徳島			672	798	492	1,218	1,737	1,503	62			6,482		6,482
愛媛	愛媛	1,336	4,382	2,459	3,629	4,628	6,127	6,068	5,055	5,888	3,281	2,502	45,356	(1,447)	46,803
高知	四万十	4,030	3,163	5,021	7,096	5,726	9,228	9,010	8,767	6,978	6,106	5,291	70,415	(1,946)	72,361
	嶺北	327	1,740	1,510	1,913	1,964	2,728	2,825	2,484	3,522	2,871	1,059	22,944	(600)	23,544
	高知中部	83	947	1,593	1,393	347	164				141		4,670		4,670
	安芸	2,128	3,119	2,717	2,461	1,094	3,046	2,733	1,861	3,507	2,717	3,738	29,121	(2,835)	31,956
	小計	6,569	8,969	10,841	12,863	9,132	15,167	14,569	13,111	14,007	11,835	10,088	127,150	(5,381)	132,531
香川	香川事			325	381	118	567	97					1,488		1,488
計		7,905	13,350	14,297	17,671	14,370	23,079	22,471	19,670	19,957	15,116	12,590	180,476	(6,828)	187,304

システム販売 124,118

委託販売 61,889

令和7年度 立木販売量(実績) ※()書きは見込数量(公売公告予定数量)

立木材積 (単位:m3)

県	署(所)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	4~2月小計	3月	計
徳島	徳島								1,651				1,651		1,651
愛媛	愛媛														
高知	四万十			2,610	4,523								7,133		7,133
	嶺北														
	高知中部														
	安芸											2,202	2,202		2,202
	小計			2,610	4,523							2,202	9,335		9,335
香川	香川事							1,942			3,951		5,893		5,893
計				2,610	4,523			1,942	1,651		3,951	2,202	16,879		16,879

「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料3)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年10月～令和8年1月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和7年10月～令和8年1月)

【スギ中丸太】 ・ 1月に5ヶ月連続下落した動きがあった。

【ヒノキ中丸太】 ・ 5ヶ月連続下落、上昇した動きはない。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年10月～令和8年1月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和7年10月～令和8年1月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和7年10月～令和8年1月)

【徳島県・愛媛県スギ】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはない。

【愛媛県・高知県ヒノキ】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはない。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

[判断基準・指標]

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ: 「国内企業物価指数」(日本銀行統計)
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.76%				逸脱下限値 -5.82%				逸脱上限値 22.22%				逸脱下限値 -22.13%				逸脱上限値 17.81%				逸脱下限値 -18.85%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月				
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-2.31%	-0.84%	-0.48%	-2.51%	-2	-3	-4	-5	15.77%	15.13%	15.83%	3.91%	9.02%	7.57%	7.32%	5.69%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 8.83%				逸脱下限値 -9.05%				逸脱上限値 39.08%				逸脱下限値 -39.73%				逸脱上限値 28.67%				逸脱下限値 -32.00%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月	10月	11月	12月	1月				
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-6.51%	-3.11%	0.74%	-1.57%	-2	-3	1	-1	10.20%	9.78%	6.90%	-0.47%	1.64%	0.72%	0.09%	-1.37%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値	逸脱下限値
	10月	11月	12月	1月		
スギ製材用素材(徳島・愛媛)	1.06	1.05	1.05	1.15	1.86	0.77
ヒノキ製材用素材(愛媛・高知)	1.00	1.05	1.09	1.04	1.57	0.86

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。